

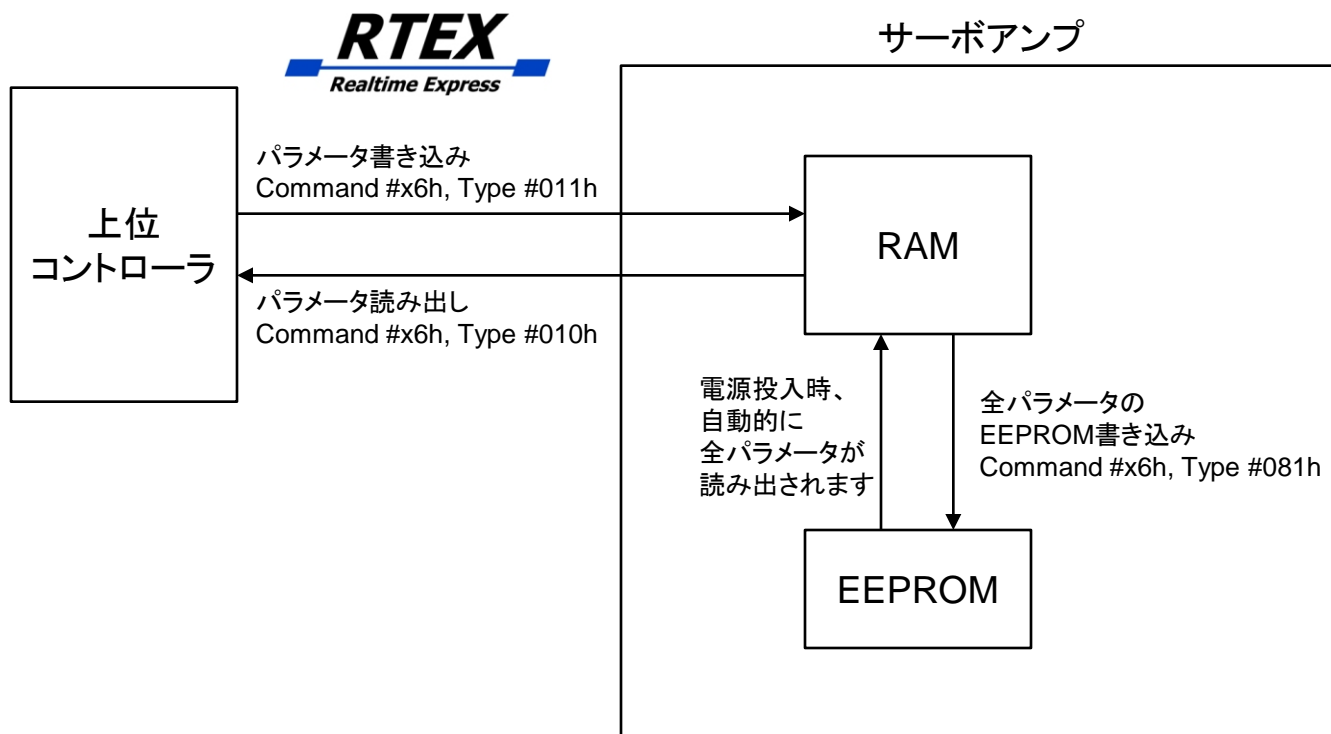
RTEXによるパラメータ設定のフロー

2014/3/10

パナソニック株式会社
アプライアンス社
モータ事業部

パラメータ用メモリの構成

パラメータはRAM上に存在します。
電源遮断時のデータ保持のため、パラメータ変更後にEEPROM書き込みを行う必要があります。

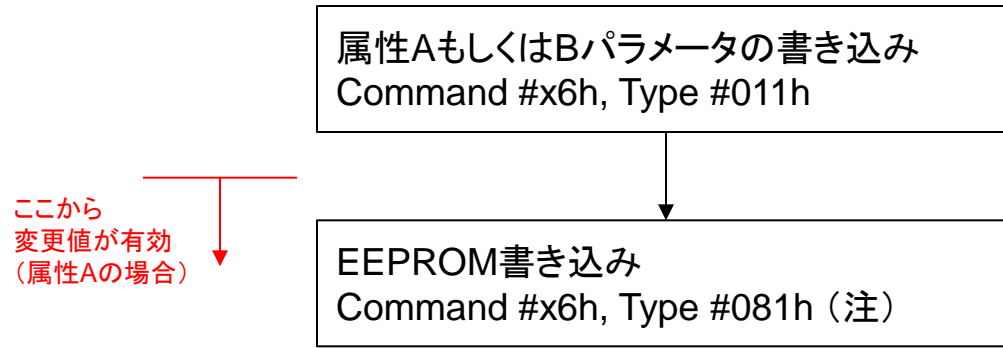


パラメータの属性

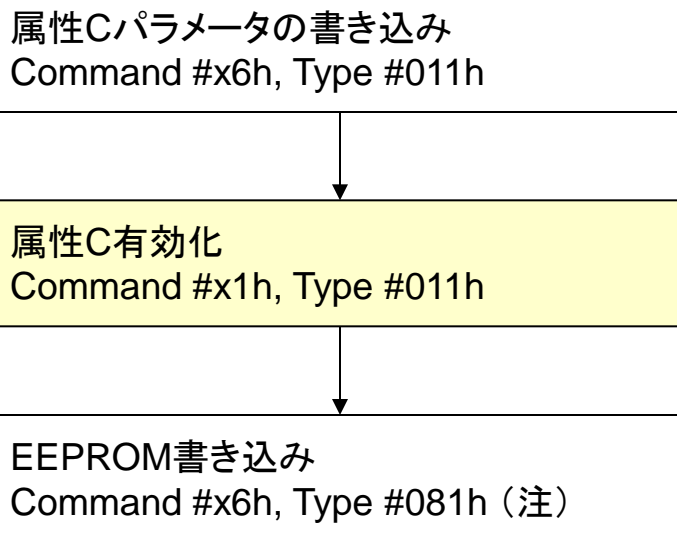
属性は、パラメータ変更後の新しい値がいつ有効になるのかを示します。

属性	内容
A	すぐに有効。
B	停止時はすぐに有効。 動作中は不定。
C	有効化コマンド Command #x1h Type #011h もしくは属性Rと同じ操作で有効。
R	「リセット後」を示す。 EEPROM書き込み後の電源再投入、もしくは リセットコマンド Command #x1h Type #001h で有効。
RO	「リードオンリー」を示す。 変更不可。

属性A もしくは B



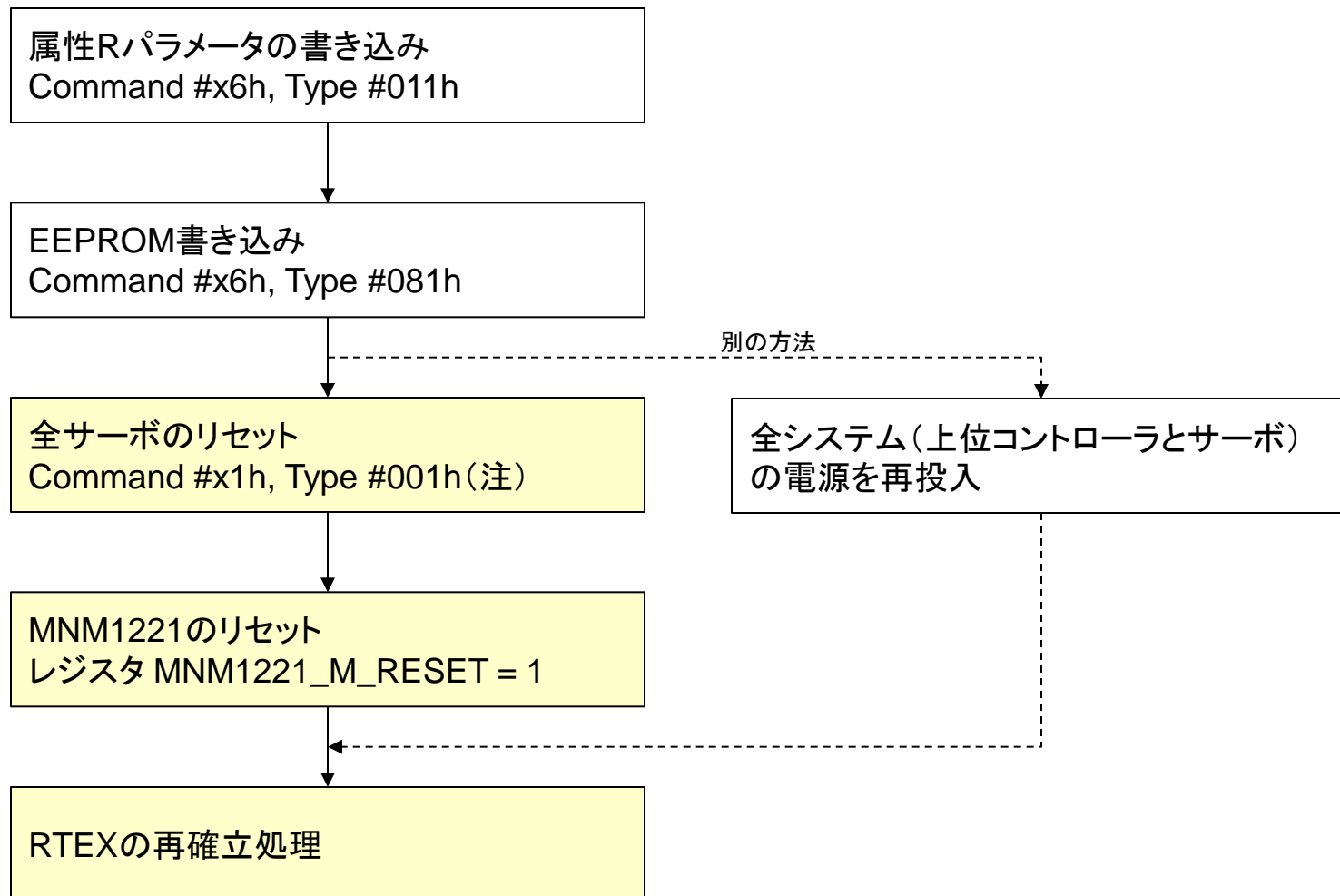
注：電源遮断時のデータ消失を防ぐためにEEPROM書き込みが必要です。



ここから
変更値が有効

本処理に代えて、属性Rと同じ処理を行っても構いません。

注：電源遮断時のデータ消失を防ぐためにEEPROM書き込みが必要です。



- 注:
- 通常非サイクリックコマンドとはシーケンスが異なります。詳細はRTEX通信の技術資料を参照してください。
 - このサーボのリセットを行わないと、変更値が有効にならないだけでなくタイムアウトErr84.0も発生します。